

日本行動分析学会第5回大会

発表論文集

1987年6月13日(土) ~ 14日(日)

筑波大学

目 次

- 「行動分析と東洋思想について
ープラグマティズムと密教を中心としてー」
瀬島順一郎（大阪産業大学） ー 1ー
- 「4・5歳児における強化随伴性による
コモン・アウトカム反応クラスの形成と制御」
出口光（明星大学）
佐藤方哉（慶應義塾大学） ー 3ー
- 「自閉症児の継時弁別学習における刺激性制御の転移
ークロスモダル転移事態における時間遅延条件の比較ー」
加藤哲文（筑波大学）
小林重雄（筑波大学） ー 5ー
- 「言語獲得における遅延弁別学習の効果に関する事例研究」
鎌田義彦（埼玉県立熊谷養護学校） ー 7ー
- 「青年期の1自閉症例に対する昼夜排泄コントロール訓練」
内田一成（道都大学社会福祉学部） ー 9ー
- 「過剰修正型腕伸法の適用による
自閉症児の教室場面における体たたき行動の改善」
井上英治（松戸市立南部小学校）
中野良顯（筑波大学） ー11ー
- 「言行一致訓練の適用による発達障害児のセルフコントロールの促進」
山下佳子（筑波大学大学院）
中野良顯（筑波大学） ー13ー
- 「目標の自己決定を含む集団ゲーム方式による作文の指導」
西田みち（日立ソフトウェア・エンジニアリング）
河合伊六（広島大学教育学部） ー15ー